

# 橋本けいいち 熱血通信

市政活動報告[2018 Vol.4]

〒981-3213  
 仙台市泉区南中山3丁目4-24  
 TEL (022) 773-3083  
 FAX (022) 376-5232  
 Email: hashihashi@nekketsu.net



皆さま、こんにちは。日頃より私の活動に対して、叱咤激励をいただき、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。日々前だけを見据え全力で行動しております。市民目線はどうあるべきか。今、何をすべきかを考え、「情熱と行動力」で職務に努めて参ります。私の議会活動の一端をご報告させていただきます。

## 身近な市政情報

### 1 働きながら幼稚園を利用できます

仙台市内全ての私立幼稚園では通常の教育時間の後に「預かり保育」を実施しております。この制度を利用いただき、働いていても安心して幼稚園に通うことができます。

○市内の全ての私立幼稚園(79園)で預かり保育を実施しており、半数以上(45園)では夏休み等の長期休業期間も含め、保育所と同程度の11時間以上の保育時間を提供しております。

○保護者の方の経済的負担を軽減する為、所得に応じた保育料等の補助や多子減免制度があります。(※平成31年9月まで)

○平成31年10月以降に予定されている幼児教育の無償化については、詳細が決まり次第、仙台市ホームページ等で広報されます。

※仙台市のホームページ上で各園の預かり保育の実施時間や料金の確認できます。

仙台市ホームページ→「くらしの情報」→「健康と福祉」→「子育て」→「保育所・幼稚園」→「幼稚園」→「幼稚園等一覧」→各園のPDFファイルをご覧ください。

### 2 泉区役所の建て替えについて

これまで行ってきた調査において、見えない部分にある給排水や空調の設備配管がこれまでほとんど更新されておらず、改修の費用が当初想定していたよりもかなり大きいことが判明しました。既に建築から41年が経過し、鉄筋コンクリート等の使用の限界に達すると想定される残りの耐用年数が短いことと、建て替えた場合、現区役所の面積よりも縮減が可能と見込まれることから、長期的な財政の上の利点が大きい為、改修ではなく建て替えが適当と判断されました。

### 3 消費税率の引き上げに伴うバス・地下鉄の運賃改定について

#### 1. 運賃改定の方針

消費税率引き上げ分を運賃に転嫁し10円単位で改訂をします。バス・地下鉄それぞれ、平均改定率が税率引き上げ分の範囲内となるように行います。

#### 2. 主な運賃改定の内容です

#### ○バス

(普通運賃)

|     |           |           |        |
|-----|-----------|-----------|--------|
| 現行  | 150円(初乗り) | 160円~180円 | 200円以上 |
| 改訂後 | 10円増      | 10円増      | 0~20円増 |

(定期運賃)

(例) 現行180円区間、大人通勤1ヵ月の場合現行7,930円から改訂後8,080円

#### ○地下鉄

(普通運賃)

|     |      |      |      |      |      |
|-----|------|------|------|------|------|
| 区間  | 1区   | 2区   | 3区   | 4区   | 5区   |
| 現行  | 200円 | 250円 | 300円 | 330円 | 360円 |
| 改訂後 | 210円 | 250円 | 310円 | 340円 | 370円 |

(定期運賃)

(例) 1区、大人通勤1ヵ月の場合現行8,180円から改訂後8,220円

### 4 錦ヶ丘地区に中学校が開校します

生徒数が増加したことから、広瀬中より分離し、平成31年4月に錦ヶ丘中学校が開校することになりました。

#### 1. 施設概要

鉄筋コンクリート造一部鉄骨造4階建て総延べ面積は9,248㎡

#### 2. 平成31年度予定生徒数・学級数

512名(普通学級16クラス、特別支援学級1クラス)

|     |     |     |     |        |
|-----|-----|-----|-----|--------|
|     | 1年  | 2年  | 3年  | 特別支援学級 |
| 生徒数 | 190 | 154 | 166 | 2      |
| 学級数 | 6   | 5   | 5   | 1      |

#### 3. 開校式

日時/平成31年4月5日(金)午前10時30分より

### 5 勾当台公園広場に東北の食材を活用するカフェ・レストランが設置されます

#### 1. 事業の概要

「食」をはじめとした東北の多様な魅力を発信するとともに、賑わい創出を図ります。

#### 2. 事業実施施設と区域

グリーンハウス勾当台(公衆トイレがあります)及び周辺エリア

## 橋本けいいちプロフィール

- 仙台市議会議会運営委員長
  - 新たな本庁舎・議会棟の整備調査特別委員会副委員長
  - 仙台市農業委員
  - 仙台市廃棄物対策審議会委員
  - 仙台市介護保険審議会委員
  - 仙台市景観総合審議会委員
  - 仙台市スポーツ市議の会会長
  - 仙台ウォーキング協会理事
  - 仙台市議会市民教育委員会委員
  - 仙台・東北フィジー共和国経済文化交流協会会長
- 昭和41年仙台市泉区生まれ 宮城県仙台第三高等学校卒 東北学院大学法学部卒

### 3. 事業期間

平成31年4月から5年程度

### 4. スケジュール

3月上旬 公募手続き開始

3月末 事業候補者決定

夏～秋頃 施設のリニューアルオープン

★かねてから私が議会で提案してきました。

## 6 区役所の窓口サービスのさらなる向上に向けた取り組みが進められています

### (1) 目的

客視性・公平性のある評価手法を導入して具体の改善を行うことで、窓口サービスの向上を図ります。

### (2) 具体的な取り組み

① 専門家(外部の接遇講師)による、窓口対応等の実地調査・診断(各区3課×5区+その他3ヶ所)

② 窓口サービスアンケートの実施

用紙の配布・回収と結果の集計と分析も外部事業者に委託

③ 外部評価・窓口サービスアンケートの結果の公表

情報公開により、職員のモチベーションや意識の向上を図る

## 7 市内小中学校のトイレ(洋式化)の改修が進められています

〈改修の基本となる3つのパターン〉

① 校舎1系統の改修(配管と便器、個室の壁)

工事費用約5,000万～約7,000万程度

年間小学校3校、中学校1校

② 古い校舎の為、長寿命化対策として学校全体の改修

年間小学校3校、中学校1校

③ 便器のみの改修

年間60基の便器の修繕

年間小学校10校、中学校10校

・修繕費の3分の1は国からの予算を活用

・通常小・中学校の校舎はおよそ20年・40年に大規模な修繕を行い、約60年程度で建て替えを行っています。

## 8 仙台市の高齢化の状況と対応(H30.4.1現在)

・泉区の65歳以上の人口と高齢化率

約53,800人、25.18% (4人に1人)

・仙台市内の65歳以上の人口と高齢化率

約245,970人、23.29% (4人に1人)

・想定では平成37年(2025年)には65歳以上が30,330人、高齢化率は28.3%と見込んでいる

○介護サービス基盤の整備目標(平成30年度～32年度)

・特別養護老人ホーム850人分

・介護老人保健施設100人分

・認知症高齢者グループホーム180人分

○介護予防、生活支援サービス、認知症などに関する相談、支援地域のネットワークづくりの為に地域包括支援センターによる支援を充実させており、今年度から高森地区、長命ヶ丘地区の2ヶ所の地域包括支援センターを増設いたしました。

(参考)

市内施設の開設状況(H30.7.1現在)

・特別養護老人ホーム62施設4,222人(うち泉区内16施設1,072人)

・介護老人保健施設33施設3,280人(うち泉区内8施設668人)

・認知症高齢者グループホーム112施設1,979人(うち泉区内26施設459人)

## 仙台市議会 平成30年度第4回定例会一般質問質疑・答弁(要約)

### 目指す東北連携の姿について

**橋本の質問** 市長は仙台市が東北唯一の政令市として人や活力を環流させるダム機能の強化、又東北のエンジンとしてけん引していく役割求められ、東北、宮城の発展に力を尽くしていきたいと発言されてきました。しかし例えば青森県は人口減の対策として東京だけではなく仙台市からも移住希望者を呼び込みたいとしています。東北の若者を奪っているのは東京や仙台だと思われてはいないでしょうか。前市長は東北連携推進室をつくり、東北が連携して地域の魅力を発信する仕組みをつくりましたが、今後はさらに多くの分野にわたり相互理解を深め、同じ方向を向いた行動が必要です。今、将来を見据えた新たな連携や取り組みは動いていないのではないかと。本市を進める思いをしっかりと伝え、各都市と連携を進めなければ都市間競争に勝てないと思います。市長の目指す東北連携の姿は何か。今後どう取り組んでいけるのか。

**答弁** これまでライブラリーパークによる東北の魅力発信や東北の観光案内所のネットワーク化などにより

つながる取り組みや、県域を越えた人材確保の為に合同企業説明会といった地域経済活性化の事業を連携・実施してきました。今後、経済成長戦略2023や交流人口ビジネス活性化戦略において、更に東北連携を打ち出して参ります。

### 区役所の機能強化(区長公募、幅広い人材の活用)について

**橋本の質問** 各区における地域の高齢化や過疎化が進み、市民サービス維持が困難になる恐れがあります。地域行政の活性化の為に、例えば区長の公募があります。区役所改革を進める大阪市では全区長を公募し、区役所内外から幅広く人材を確保しており、非常に効果的と判断されていますが、所見を伺います。又、新潟市においては区長の他、部長ポストも公募を開始しました。又、区役所の職員のやる気とサービス向上力につながる方策について提案をしましたが、現在の検討状況と今後の取り組みについて伺います。さらに法改正により地方公務員全ての職員への人事評価が実施されることとなりますが、この制度をどう活かしていくのか伺います。



**【答弁】** 区役所は福祉、道路、公園等市民にとって最も身近な市政の窓口であり、まちづくりを推進する役割がある為、幅広い行政事務の管理と監督する区長の人事の公募については、慎重な検証をして参ります。一方、組織力の向上を図る為、多様な職務経験や専門的な知識を有する人材の登用は重要であり、他都市の取り組みを参考に対応して参りたいと考えます。本市ではこれまで窓口アンケートを実施して参りましたが、現行だけでは限界があり改善に活かしきれないと認識しております。大阪市や浜松市ではアンケート調査に加え、専門家による評価と結果の公表、職員へのフィードバックの実施で効果が図られており、本市においても具体の取り組み手法を検討して参ります。又、本市の人事評価では職務上の役割の確認や上司との面談の実施、取り組むべき課題の共通理解、仕事の改善を図っておりますが、より効果的な制度の運用により職員のモチベーションを高め、サービス向上に努めて参ります。

### スポーツを活かしたまちづくりについて

**【橋本の質問】** 本市にはプロスポーツチームが数多く存在しておりますが、現役を退いた選手がこれまで培った技術や経験を活かせていない。札幌市の(一社)アスリートバンク北海道では元プロ選手が団体を立ち上げ協力しながら地域を元気に、そして青少年育成に寄与する為に取り組んでおり、学校の授業や部活動に協力して青少年育成に効果を上げている。又、地域の運動会のサポートなどスポーツ振興や健康増進に役立っている。本市においても、同様の動きがあるがこのような連携・協力すべきと考えるが伺う。

**【答弁】** 子ども達が元プロ選手と学校の授業や部活動の中で触れ合う機会が増えることは、運動意欲や技術力の向上など効果的と認識している。又、地域におけるスポーツ行事に関わることは、意欲や関心を高め、地域コミュニティづくりや活性化に寄与すると考えます。本市としても、団体や教育局とも協力し、可能な支援に取り組んで参ります。

### 都市の魅力発信と常禅寺通りの活性化について

**【橋本の質問】** 仙台市の持続的な発展を遂げる為には都市の魅力発信と活性化による賑わい創出は不可欠です。これまで勾当台公園広場と隣接するグリーンハウス等を連動させ常禅寺通りの活性化につなげるべきと申し上げてきました。これらを受け、勾当台公園広場内に「ライブラリーパーク」が開設され、賑わい創出に一定の効果があつたとのこと。その成果の総括と、今後どのように展開するつもりなのか伺います。又、グリーンハウススペースを交流拠点としての再整備を望むものです



が、今後の活用についても伺います。さらに公園等の維持修繕に対して民間資金を活用するなどの整備の考え方についてもお示しください。

**【答弁】** ライブラリーパークの成果として東北の26の自治体にご利用いただき、観光情報の発信に貢献でき、評価をいただきました。又、公園内の通行量の増加、出店者の売り上げ増にもつながり、賑わい創出にも一定の効果があつたと認識しております。グリーンハウス勾当台についてはその建物を活用し、東北の「食」に着目した事業を展開する方向で検討しております。東北全体の交流人口の拡大や活性化に努めて参ります。公園の再整備については、常禅寺通りの活性化や市役所新本庁舎との一体的活用の観点も含め、利活用しやすい公園となりますよう、民間活力の導入も含め検討して参ります。

### 救急需要対策について

**【橋本の質問】** 仙台市では市内全域の高齢化が進展し救急出動件数が初めて年間最多の5万件を超えたと報告がありました。急速な高まりを見せる高齢者の状況の中で、今後の救急需要の増加をどの程度と見込んでおられますか。又、#(シャープ)7119救急相談電話サービスについては、これまでの運用状況と評価について伺います。さらに新設予定の(仮称)中心部救急出張所は高齢化や増加が見込まれる外国人に対応することが想定されておりますが、こういった特徴があるのか、整備の進捗についても伺います。

**【答弁】** 仙台市の人口は間もなくピークを迎え、その後緩やかな減少に転じると見込まれる一方、高齢化率は右肩上がりで見込まれると予測されています。本市の救急需要予測では2035年には6万件を超えると推計しております。又、#7119は平成29年10月から導入し、本年10月までの市民からの相談件数は10,802件で、月平均830件余となっております。その内救急車の要請を助言された割合は約10%となっており、一定の効果があつたものと考えます。(仮称)中心部救急出張所については、平成32年4月の運用開始を目指して進めております。特徴として、集団救急災害時の救急指揮

や、新型インフルエンザ等の感染症対応、又、外国人に対応した救急隊用アプリの導入など検討して参りたいと考えます。

## 地域経済の活性化について

**橋本の質問** 地域経済の原動力の要因は、いかに人材を集積できるかと考えます。企業誘致により域外から企業を呼び込むことも大事ですが、地元の企業が稼ぐ力を高め、収益を拡大する為には、必要な人材の確保が最重要であります。その為に例えば市内に学ぶ高校生や就職まで時間のある大学一、二年生に対し地元企業をもっとよく知ってもらい、直接経営者と接し、地元ならではの魅力を伝える機会を設けることが効果的であると考えます。経営者に現場の声を話していただき、学生と地元企業が積極的に交流することは、これまであまりなかったはずですが、こういった足元からの機会の充実を求めますが、今後の取り組みを伺います。

**答弁** 本市の経済状況は市内の総生産や市民所得が増加基調となっており、新規開業率や誘致企業数も堅調に推移しておる一方で、生産性の高い産業の集積の促進と地元企業の競争力強化が重要です。今後ICT産業と様々な分野の融合による新事業の創出や、市中心部へのオフィスビル等の民間投資促進などに取り組むなど、施策を展開して参りたいと考えます。又、これまで経済団体と連携し私立高校の生徒や市内大学の学生と企業経営者との交流を行ってきました。先日も仙台経済同友会との意見交換会において、さらに積極的に取り組むべきとのご意見をいただきました。こうした学生と地元企業との交流機会の充実を図り、若者の地元定着と企業の人材確保に結び付けて参ります。

質問内容と答弁の詳細については、仙台市議会のホームページからもご覧いただけます。

仙台市議会ホームページアドレス

<http://www.gikai.city.sendai.jp>

## 活動レポート



2018年12月  
オリンピック・パラリンピック2020東京大会開催を踏まえ、全国自治体向けの普及・啓発の取り組みと、オリンピック・パラリンピックの意義・内容について、大会への参画意識の醸成を促すイベントが開催されました。地方の都市がオリンピック・パラリンピックにどう関わり、参画するかを考える必要があります。国内外からの方々との交流についてもその対応を整備しなければなりません。



2019年1月  
地域の伝統行事「だんごさし」を子ども達が体験し、受け継ぐことを考えるイベントが開催されました。失われつつあるこういった行事が、地域の大人と子どもと一緒に考え、取り組む重要性を感じました。もの豊かな時代において、昔の人々の知恵やその心を大切にしたいといった行事が色あせることなく次の世代に引き継ぐ責任が私達にはあります。



2019年1月  
私が代表を務めるスポーツ市議会主催による「楽天イーグルス激励会」を開催いたしました。ドラフト入団全選手1人1人の意気込みを伺い、地域への支援や交流を通して街の活性化、元気づくりにつなげていただいております。子どものいじめや教育の課題に対する取り組みが求められている中で、一流の選手が持つ体験や智恵をこの仙台の人づくりに活かしていかなければなりません。



2019年1月  
農地を取り巻く環境や農地の適正管理がなされているかの現地調査を行いました。耕作放棄地の増大や後継者不足に対応した整備交付金や補償制度だけでなく、農地中間管理機構による農用地利用集積等の早急な取り組みを進める必要性があると考えます。



2019年2月  
地域にある大規模な「近隣公園」の維持管理状況について行政と町内会が合同で調査を行いました。老朽化したトイレや伐採が必要な樹木の状態を1つ1つ確認し、子どもからお年寄りまでが安心して活用できる公園について、数多く要望が提案されました。



2019年2月  
地域に数多く存在する危険性の高い通学路の安全点検がPTA、町内会と合同で自主的に開催されました。子どもの目線での安全対策と、自転車・自動車の視点からの対策について改めて多くの指摘をいただきました。早急な対策に取り組みます。



2019年2月  
警備等関連団体と仙台市との意見交換会を開催いたしました。本市で開催される七夕や青葉まつりストリートジャズフェス等の大規模なイベントへの対応や今後想定される自然災害への課題、高齢化社会へ対応した24時間見守りや巡回訪問などについてその役割と地域連携を今後取り組むことが改めて確認されました。



2019年3月  
東日本大震災から8回目の慰霊祭が開催されました。あの自然災害からの経験と教訓を決して忘れることなく自助・公助それぞれの認識を持つことが求められています。追悼に終わらせることなく、震災の恐ろしさや「備え」の意識づくりが重要であります。

皆様のご意見ご要望等どしどしお聞かせ下さい。お待ちしております。

TEL(022)773-3083 FAX(022)376-5232 Eメール: hashihashi@nekketsu.net